

ごあいさつ

シビアクシデント

2011・3・11の東日本大震災と福島第一原発のメルトダウンに伴う世界最悪の過酷事故は、「人間の本当の豊かさとは何か！」という非常に重大かつ本質的な問いを私たちの喉元に突きつけました。

しかし、それから2年半以上経ついま、政治も行政も、そして被災地以外の多くの県や市町村までが、あの悲惨きわまる大事故を忘れ去ろうとしています。「放射線管理区域」よりもっと深刻な被曝にさらされている被災地に多くの被災者を「棄民」しながら……。

*

私たち《文明哲学研究所》は、この深刻な現実や事態を凝視し続け、問題の本質的解決を得るまでは決して風化させてはならない、絶対に忘れてはならない、と考えています。そして、かけがえのない次世代、次々世代の人たちの安全や豊かさへの可能性を、わずかな期間の繁栄と引き換えに収奪してはならない、とも考えています。

そこで、長年、原子力物理学者として「反原発」を闘い抜いてこられた京都大学・原子炉実験所助教の小出裕章氏を講師に迎え、文明哲学研究所主催の「第1回・市民公開講座」を開催します。

被災地の間近にあるこの東北・山形の地から、「なぜ原発が不要なのか」、そして、「人間の本当の豊かさとは何か」という切実な問いを皆さんと共に考えながら、日本全国はもちろん、世界に向けても強く発信しようと思います。

心ある皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

文明哲学研究所・所長 井原甲二

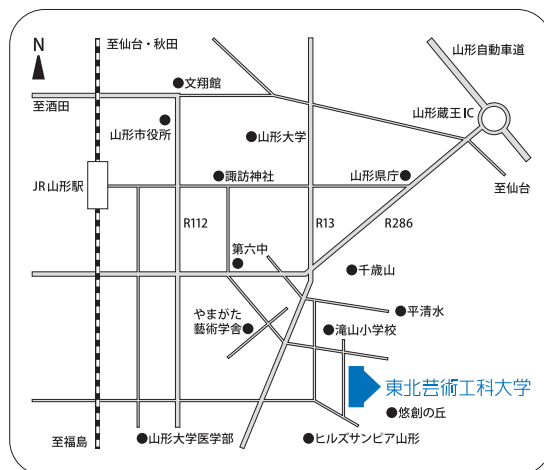
◆ 講師プロフィール：小出裕章（こいで・ひろあき）

京都大学原子炉実験所助教。

1949（昭和24）年東京生まれ。原子力の平和利用を志し、1968年に東北大学工学部原子核工学科に入学するも、その危険性に気づき、女川での反原発集会、伊方原発裁判、人形峠のウラン残土問題、JCO臨界事故などで放射線被害を受ける住民側に立って反原発活動を行う。

2011年の福島第一原発の事故以来、全国各地からの要請に応じて精力的に講演活動も行い、2013年8月、文明哲学研究所主催の第2回平和文明会議でも基調講演（京都造形芸術大学）を行う。

著書に、『原発のウソ』（扶桑社新書）、『小出裕章が答える原発と放射能』（河出書房新社）、『原発のない世界へ』（筑摩書房）、『知りたくないけれど、知っておかねばならない原発の真実』（幻冬舎）、『騙されたあなたにも責任がある』（幻冬舎）、『日本のエネルギー、これからどうすればいいの?』（平凡社）など多数執筆。



【アクセス】

- ①山形駅東口（5番乗り場）よりバス約20分
- ②タクシー15～20分
- ※講演当日は駐車場スペースが限られておりますので、公共交通機関をご利用ください。ますようご協力をお願い申し上げます。

◆ お申込み方法：お申込みは、FAXまたは、メールにて受付けております。

メールの場合は iphv@aga.tuad.ac.jp に下記の内容をご記入の上、お申込みください。

※尚、会場の都合上、定員（先着順）になり次第、締切らせて頂きますので、ご了承ください。

氏名(必須)	フリガナ	連絡先(必須)	※中止など緊急連絡に対応できる携帯電話などの連絡先	
学籍番号 (芸工大生のみ)		返信可能なFAX番号 またはメールアドレス (必須)		
住所(必須)	〒	所属 (任意)		

FAXでお申込みの場合、上記の内容をご記入の上、このまま送信してください。

※いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用しません。

東北芸術工科大学「文明哲学研究所」

FAX番号：023-627-2360